中小企業地域資源
活用促進法に基づく

ふるさと名物
Furusato Meibutsu

石川県加賀市
が応援するふるさと名物

- 「加賀三温泉」を活用した商品・サービス群
- 「山中漆器」による商品群
- 「九谷焼」による商品群
- 「加賀の日本酒」
- 「坂網鴨」を頂点とした「加賀の鴨料理」
- 「加賀九谷野菜」を活用した商品・サービス群

応援宣言

ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

平成30年２月27日

地域の
プロフィール

アクセスマップ
石川県加賀市

加賀市は石川県の最南端に位置し、霊峰白山水系に育まれた自然の恵みに愛されるまちです。

江戸時代にこの地を治めていた加賀百万石の流れを汲む大聖寺藩の誉れ高い文化、風光明媚な自然、山海の美味な食材、名水より生まれる清酒、泉質のよさで知られる温泉、鴨の聖地であるラムサール条約登録湿地など昔も今も人々を惹きつけてやまないこの地の豊さに、「九谷焼」や「山中漆器」の伝統工芸が発展し、最先端のものづくりとして競って来た技術の集積が現代の加賀市ものづくり産業の集積へと継承されています。

ふるさと名物の内容１　「加賀三温泉」を活用した商品・サービス群

1

主な地域資源
加賀温泉郷

◆大地の恵み「加賀三温泉」

数百年に渡り、来訪者と市民を
もてなして来た極上の三温泉

◆山代温泉

北大路魯山人、与謝野晶子、泉鏡花など名だたる文化人がその痕跡を残した山代温泉。

江戸時代は共同浴場を中心に町が作られ、古くから生活の疲れを癒す市民の温泉として多くの来訪者を癒やして来た温泉であり今もその原風景を彷彿とさせる湯の町の佇まいが残ります。

◆片山津温泉

「白山が麗しき湖畔のまち」として清らかな水風景に抱かれた温泉地。正面に望む霊峰白山や、時とともに移りゆく湖面に心癒される温泉。

自然の景観を生かしたデザイン性の高い総湯や柴山潟噴水のライトアップにも心がときめきます。

水面を楽しむ船遊びなど楽しみ多い温泉です。

◆山中温泉

かの松尾芭蕉がいたく気に入り９日間も逗留したといわれる山中温泉。開湯1300年の歴史ある温泉地は名勝・鶴仙渓を始めとする景勝地の四季折々の自然美に包まれています。

古くから武家や豪商の温泉地として加賀の文化を育んできた温泉地です。

ふるさと名物の内容２　「山中漆器」による商品群

2

主な地域資源
山中漆器

◆ものづくりの継承「山中漆器」

用にかなう伝統職人の光る技、４５０年の歴史、現代に息づく職人の魂

１５８０年頃、良材を求め自然豊かな山中温泉に移住した工人たちの「木地挽物轆轤」が始まりとされており、その後、山中温泉の浴客への土産品として広く生産されるなど温泉の恵みによる豊かな生活環境がこの漆器技術を育ててきました。

現代では伝統工芸と言われる千筋挽きに代表される加飾や朱溜塗、独楽塗などの漆器技術も、江戸時代においては当時のものづくり技術の最先端でありました。

最先端であり続けようとする技術者の心意気がこの地で継承されて来たからこそ、山中漆器が日本一の漆器産地となり、現代の優れたものづくり産業の集積につながったのです。

ふるさと名物の内容３　「九谷焼」による商品群

３

主な地域資源
九谷焼

◆色彩の革新「九谷焼」

その色彩は昔も今も人々を惹きつけてやまない３６０年の歴史、現代に継承する色絵磁器

九谷焼は江戸時代前期に加賀市で誕生した色絵磁器です。色と模様、つまり上絵付に力を入れる伝統があり、初期の古九谷から江戸後期の吉田屋、輸出に沸いた明治、そして現代まで時代ごとにさまざまな表現が創り出されてきました。

日本を代表する色絵磁器の魅力である九谷焼の持つ色彩はあまりに革新的で力強く、その発祥と併せて浪漫を感じさせるものです。

現代の陶工の弛まぬ努力と研鑽により革新し続ける九谷焼にはその美の限りが見えません。

ふるさと名物の内容４　「加賀の日本酒」

4

主な地域資源
清酒

◆無限の味覚を探求「加賀の日本酒」

老舗蔵元が競い合う至高の味覚

加賀百万石の流れを汲み米どころとして知られた加賀市
その味わいの深さを現代に伝える加賀市の日本酒。
お米の味わいを濃縮した日本酒づくりは脈々と受け継がれ、現在三件の蔵元がその腕を競い合っています。

◆鹿野酒造株式会社
白山の清冽な伏流名水、蓮如上人が彫ったという伝説「白水の井戸」の湧き水を仕込み水に使い、若い蔵人たちの手造りによって品質本位の酒造りを行う酒造。そのふくよかな香りと味のキレの良さが抜群で、幾多の鑑評会で金賞受賞の実績を残しています。

◆松浦酒造株式会社
酒造の目標は、美味しいお酒をできるだけ新鮮な状態で出荷すること。また、手造りの味・香りをそのまま楽しんで頂くこと。年間総生産石数約８００石という小さな造り酒屋ながら原材料は顔の見える農家から仕入れ、先代の技術を生かした酒文化を守り伝えています。

◆橋本酒造株式会社
霊峰大白山から流れ出る清流と百万石の米どころならではの大粒酒造米が特徴。銘酒「大日盛」創業以来２３０余年磨かれた酒造りの技を生かし、ベテラン能登杜氏が精魂込めて醸し出す絶妙な味は、心身をほぐす美酒として親しまれています。

ふるさと名物の内容５　「坂網鴨」を頂点とした「加賀の鴨料理」

5

主な地域資源
坂網鴨

◆究極の味「加賀の鴨料理」

究極の味「坂網鴨」を頂点とし人々を魅了する「加賀の鴨料理」

　ラムサール条約登録湿地「片野鴨池」で江戸時代から続く、武士の鍛錬から始まった伝統猟法「坂網猟」で捕獲する天然鴨である「坂網鴨」。

　この年間３００羽しか取れない希少な鴨は空腹の状態で捕獲するため内臓からの腐敗がなく、無傷で血を流していないため血生臭さが発生しない究極の鴨肉です。

　市内では、「坂網鴨」を頂点とし、美味しい「鴨料理」を堪能することが出きます。

①商 標 名	「坂網鴨」（さかあみがも）
②指定商品	第29類、第31類、第43類
③商標権者	大聖寺補鴨猟区協同組合

6

◆受け継がれる伝統の野菜「加賀九谷野菜」

豊かな加賀の自然からの贈り物

主な地域資源

ブロッコリー・かぼちゃ・
トマト・ねぎ・だいこん等

古くから九谷焼発祥の地として知られる加賀市は、大聖寺川・動橋川などの清流と肥沃な江沼平野が広がる自然環境豊かな地であります。

このような環境の中、市内では四季折々の様々な農産物を生産しており、それらは県内外から高い評価を得ています。

野菜 九谷 加賀
KAGA KUTANI YASAI

①商 標 名　「加賀九谷野菜」（かがくたにやさい）
②指定商品　第31類　加賀市産の野菜
③商標権者　加賀農業協同組合

市の主な取り組み

1 新商品開発助成事業

◆新商品、新サービスの開発費を補助します。
　市内の中小企業者等が行う「加工食品」、「伝統工芸品」、「一般製品等」の新商品・新サービスの開発や既存商品等の改良に必要となる費用の一部を助成します。また、商品力向上のため、専門家によるアドバイスも受けることができます。

2 伝統工芸担い手販路開拓支援事業

◆伝統工芸の展示会出展に係る経費を支援します。
　市内在住、もしくは市内にて制作活動を行う若手伝統工芸従事者等で構成される団体（グループ）が、販路開拓を目的として行う展示会等の開催にかかる経費の一部を助成します。

3 加賀市乾杯条例

◆加賀市乾杯条例を制定しました。
　本市で製造される日本酒（以下「地酒」という）による乾杯を推進することにより、地酒の普及を図るとともに、温泉地での地酒による乾杯を通した温泉文化の継承を促進し、もって、関連産業の発展及び郷土愛の醸成を図ることを目的として平成２９年４月に本条例を制定しました。
　今後、ポスター作製等のPR活動を行い普及を推進します。

4 食のブランド化事業

◆加賀市の食材、食文化など「食」のブランド化を推進します。
　加賀市の豊かな自然と伝統文化を背景とした、片野鴨池の「坂網鴨」や地元農林水産物の優れた食材・食文化、更には九谷焼・山中漆器などの伝統工芸品を生かした新しい「食」を創造・PRすることにより加賀の「食のブランド化」を推進します。